

〔 特 集 〕

お腹の中の赤ちゃんが アレルギーにならないために できること



妊娠中から赤ちゃんが生まれるまでの期間は、親にとって期待と不安が交錯する大切なときです。特にアレルギーは、生まれてくる子どもの健康に大きな影響を与えるため、多くの親御さんが予防を心がけています。しかし、アレルギー予防に関する正確な情報が不足しているため、どの対策が効果的なのか、どれが迷信に過ぎないのかが、しばしば不明確です。たとえば、一部の親御さんはアレルギーを防ぐために特定の食品を避けていますが、それが必ずしも科学的な根拠に基づいているわけではありません。

本特集では、妊娠中や授乳中の食事、生活環境、喫煙や帝王切開がアレルギー発症にどのような影響を及ぼすかを科学的根拠に基づいて詳しく解説します。さらに、出産後に気になる母乳栄養の効果や生後のスキンケア、離乳食の取り入れ方まで、赤ちゃんのアレルギー予防に役立つ情報を幅広く提供します。これにより、医療職としての知識を深め、よりよい方向へと導く手助けができることを願っています。

(神戸市立医療センター中央市民病院小児科／岡藤郁夫)

